

お知らせします！

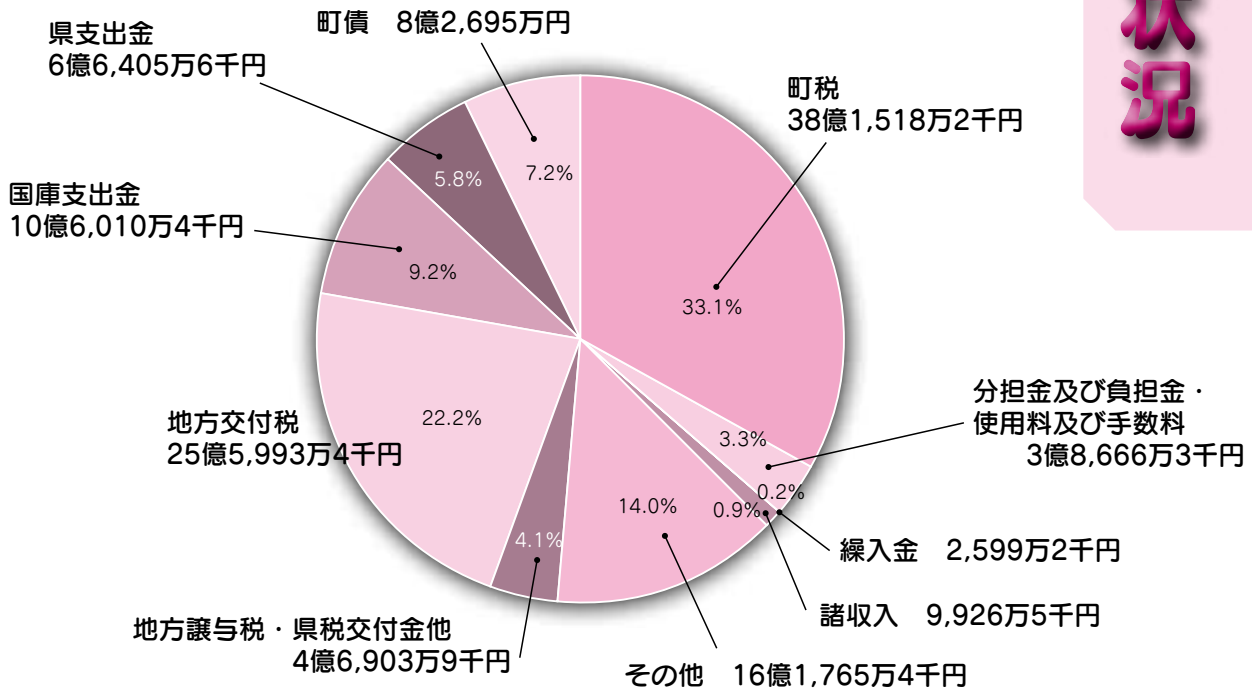
平成23年度 決算状況

平成23年度広陵町一般会計の歳入歳出決算は、歳入総額115億2,483万9千円に対し、歳出総額107億2,428万9千円で、差引8億55万円の「黒字」決算となり、翌年度に繰り越すべき財源3,511万6千円を差し引いた7億6,543万4千円が平成23年度の実質収支額となりました。
町ではこれまでに引き続き、事務事業の見直しなど、行財政改革に取り組んでいます。
町民の皆さんのより一層のご理解とご協力をよろしく願います。

歳入

115億2,483万9千円

歳入では、固定資産税やたばこ税などの町税や県支出金、旧清掃施設跡地（馬見南3丁目）の売却による財産収入が増額となりました。
歳入全体では、前年度と比較して9億9,773万円の増額となりました。



☆広陵町財政健全化判断比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律により、財政健全化判断比率を策定しています。いずれの数値も早期健全化基準には至っていませんが、財政基盤強化のため今後も行財政改革を推進してまいります。

(単位：%)

	広陵町の数値	早期健全化基準	財政再生基準	指標の概要
実質赤字比率	-	14.00	20.00	一般会計等が赤字か黒字かを判断する指標
連結実質赤字比率	-	19.00	35.00	全ての会計の合計額が赤字か黒字かを示す指標
実質公債費比率	15.7	25.0	35.00	標準的な収入に占める借入金の返済に充てた割合
将来負担比率	113.8	350.0		標準的な収入に占める借入金などの将来に負担しなければならない割合

*実質赤字比率および連結実質赤字比率は、いずれも黒字で健全であるため「-」で表記しています。